

共に響き合う、京響

City of Kyoto Symphony Orchestra

70th Anniversary 京響

2027

1.15 金

Fri, January 15, 2027 / 7:00PM

開演:午後 7:00 (午後 6:00 開場)

1.16 土

Sat, January 16, 2027 / 2:30PM

開演:午後 2:30 (午後 1:30 開場)

プーランク:  
2台のピアノのための  
協奏曲\*

Poulenc: Concerto for Two Pianos and Orchestra\*

ストラヴィンスキー:  
バレエ音楽「火の鳥」  
(1910年全曲版)

Stravinsky: The Firebird, complete ballet (1910 edition)



ピアノ:  
ルーカス&アルトゥール・ユッセン\*

Piano: Lucas & Arthur Jussen\*

©Marco Borggreve

京都コンサートホール・大ホール

Kyoto Concert Hall (Main Hall)

京都市営地下鉄丸線「北山」駅下車 出口1-3番から南へ徒歩約5分

開演前は指揮者による「ブレーク」でお楽しみください。  
1/15[金]公演=午後6:30頃 1/16[土]公演=午後2:00頃  
「ブレーク」はホール・ステージ上にて開催します。

入場料 2026.10.9[金]から発売  
¥6,000円 ¥5,500円 ¥4,500円  
¥3,500円 ¥3,000円 (舞台後方席)

U30[前売]一般発売に併せて販売 ¥2,500円 ¥2,000円 ¥1,500円

※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご入場の際には年齢の確認ができる証明書のご提示をお願いする場合がございますので必ずご携帯ください。  
※オンラインチケット https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/ で販売 (チケットカウンター、チケットぴあ、ローソンチケットではお買い求めいただけません)。  
※販売席数は限定。

U30[当日]当日残席がある場合のみ発売 ¥2,500円 ¥2,000円 ¥1,500円 ¥1,000円 ¥1,000円

※2名様での購入がお得なチケットです。※オンラインチケット https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/ で販売 (チケットカウンターで販売 (チケットぴあ、ローソンチケットではお買い求めいただけません)。  
※他の割引(特典等)との併用はできません (京響友の会、Club 会員、障がい者割引)。  
※前売販売のみ。

金曜ペアチケット(1/15公演) ¥10,000円 ¥9,000円 ¥8,000円

※1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2027年1月8日までに京響075-222-0347へお申込みください) ◆10枚以上のチケットお申込みには団体割引(10%OFF)があります。京響075-222-0347までお問い合わせください。 ◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱います(窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。

主催:京都市交響楽団(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市  
協力:株式会社ドルチェ楽器 後援:(株)エフエム京都

# 京都市交響楽団

「火の鳥」全曲を沖澤のタクトで  
実力派で華やかなパフォーマンスで話題の  
ユッセン兄弟にも注目!

第718回 定期演奏会



指揮:  
沖澤 のどか  
(常任指揮者)

Conductor: Nodoka Okisawa  
(Chief Conductor)

©京都市交響楽団

助成:



文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))  
独立行政法人日本芸術文化振興会  
令和8年度 文化庁 劇場・音楽堂等における  
子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

チケットご予約

- 京都コンサートホール 075-711-3231 ●ロームシアター京都 075-746-3201
- 24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード 308-602
- ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード 57869

お問い合わせ

京都市交響楽団 075-222-0347  
←<https://www.kyoto-symphony.jp/>  
京都コンサートホール 075-711-3231  
<https://www.kyotoconcerthall.org/>

◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

◎10枚以上のチケットお申込みには団体割引(10%OFF)があります。京響075-222-0347までお問い合わせください。 ◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱います(窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。

美しいひびき、感動にみちた  
音楽との出会いをお届けします。

ROHM  
SEMICONDUCTOR



ストラヴィンスキー作曲「火の鳥」は、よく演奏される1919年版ではなく、よりストーリー性も楽しめる壮大な全曲版を取り上げます。京響での全曲版の演奏は岩城宏之が指揮した2004年以来、23年の時を経て常任指揮者の沖澤のタクトで蘇ります。

ストラヴィンスキーの影響を受けて作られたプーランク作曲「2台のピアノのための協奏曲」は、プーランクらしい洒脱さと機知が凝縮された作品。ピアニストに迎えるのは、オランダが生んだ天才ピアニストとして熱狂的なファンも多いユッセン兄弟です。1993年生まれの子・ルーカスと1996年生まれの子・アルトゥールの活躍は少年時代から脚光を浴び、近年はヨーロッパだけでなく、ネルソンスが指揮するボストン交響楽団に呼ばれるなど、実力も折り紙つきです。

沖澤 のとか (常任指揮者) Conductor: Nodoka Okisawa (Chief Conductor)

指揮

2019年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝、併せてオーケストラ賞と聴衆賞を受賞。2018年東京国際音楽コンクール(指揮)優勝。第28回(2020年度)渡邊曉雄音楽基金音楽賞、第21回(2022年度)齋藤秀雄メモリアル基金賞 指揮部門、第1回(2023年度)毎日芸術賞ユニクロ賞、青森市長特別未来賞、令和6年度京都市芸術新人賞など受賞多数。セイジ・オザワ松本フェスティバル首席客演指揮者。ミュンヘン交響楽団2022/23シーズンのアーティスト・イン・レジデンス。故郷の青森で開催される「青い海と森の音楽祭」芸術総監督。2020-22年ベルリン・フィル・カラヤン・アカデミー奨学生、及びキリル・ベトレンコ氏のアシスタント。2025/26シーズンは、ロンドン・フィル、ドルトムント・フィル、ボストン響へデビュー、エストレマドゥーラ響、ウィニペグ響、メルボルン響へ再登場のほか、タスマニア響とオークランド・フィルにも登場。また、最近の特筆すべきデビューとして、ロイヤル・スコティッシュ・ナショナル管、N響、バーゼル室内管、ケベック響、BBCウェールズ・ナショナル管での成功が挙げられる。日本でも読響、都響、N響、日本フィルなどへ定期的に客演。東京二期会では2020年11月にレハール『メリー・ウィドー』、2025年2月にはビゼー『カルメン』を指揮した。青森県生まれ。幼少期からピアノ、チェロ、オーボエを学ぶ。東京藝術大学で高関健、尾高忠明両氏に師事して修士号を取得。2019年ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンでクリスティアン・エーヴァルトとハンス・ディーター・バウム両氏のもと第二の修士号を取得。ベルリン在住。2023年4月から京都市交響楽団第14代常任指揮者に就任。



©Felix Broede

ルーカス&アルトゥール・ユッセン

Pianos: Lucas & Arthur Jussen

ピアノ

ルーカス(1993年生まれ)とアルトゥール(1996年生まれ)のユッセン兄弟は、今最も注目を集めるピアノデュオの一つ。これまでに、ボストン響、シカゴ響、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ブダペスト祝祭管、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、アカデミー室内管等の世界有数のオーケストラ、クリストフ・エッセンバッハ、イヴァン・フィッシャー、サー・ネヴィル・マリナー、アンドリス・ネルソンス、ヤニック・ネゼ＝セガン、ヤープ・ヴァン・ズヴェーデン等の著名な指揮者と共演を重ねている。2025/26シーズンは、hr交響楽団(フランクフルト放送響)のアーティスト・イン・レジデンスを務めるほか、ベルリン・フィルへ待望のデビューを果たし、バーミンガム市響、ラハティ響、フランス国立管等に登場。さらにミュンヘン・フィル、ウィーン響、アカデミー室内管とのツアー、米国ではピッツバーグ響へのデビューやカンザスシティ等でのリサイタルのほか、ボストン響と新作を世界初演。また、トンヨン国際音楽祭で韓国デビューに続き、台湾フィルと共演。ヨーロッパでも各地でのリサイタル、ルール・ピアノ・フェスティバル、ブラハの春音楽祭等に登場。録音では2010年からドイツ・グラモフォンと専属契約を結び、最新盤のオランダ人作曲家作品集『ダッチ・マスターズ』はエディソン・クラシック賞と聴衆賞を受賞した。故郷ヒルフェルスム(オランダ)で初めてピアノのレッスンを受けたユッセン兄弟は、幼少期にはオランダのヘアトリクス女王の御前で演奏を披露し、その後数々のコンクールで受賞。2005年にポルトガルの名ピアニスト、マリア・ジョアン・ピリスと出会い、数年間にわたりピリス及びオランダの名教師陣のもとで研鑽を積んだ。ルーカスは米国でメナヘム・プレスラー、マドリッドでドミトリー・バシキーロフに師事。アルトゥールはアムステルダム音楽院を卒業し、ヤン・ヴィンに師事した。



©Marco Borggreve

City of Kyoto Symphony Orchestra

京都市交響楽団

1956年、京都市が「京都の新たな文化財」として構想し、創立。日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つ。〈身近な存在として、市民に愛され誇りとされる〉〈文化芸術都市・京都の象徴となる〉オーケストラを目指し、京都コンサートホールでの定期演奏会をはじめ、ロームシアター京都でのオペラやコンサートのほか、小中学生対象の音楽鑑賞公演、0歳から楽しめる演奏会、アウトリーチ活動、若い人達への楽器講習会等、多彩な活動を行っている。近年は小林研一郎、井上道義、大友直人、広上淳一らが常任指揮者を務め、2023年沖澤のどかが第14代常任指揮者に就任。2024年ヤン・ヴィレム・デ・フリースを首席客演指揮者に迎え、演奏の一層の充実を図っている。2026年は創立70周年を迎え、〈世界に向けて最高の音楽を発信し続ける〉オーケストラとしてさらなる発展を目指す。

©井上亨典事務所 井上嘉和

次回予告  
第719回  
定期演奏会

2026.11/21  
から発売!



広上淳一



ニコライ・ルガンスキー

マエストロ広上による、「ザ・ロシア」プログラム!  
ラフマニノフの名手ルガンスキーのピアノと共に

会場: 京都コンサートホール・大ホール 指揮: 広上 淳一 独奏: ニコライ・ルガンスキー(ピアノ)\*

入場料 全席 6,000円 5,500円 4,500円 3,500円 3,000円(舞台後方席)

U30(前席) 2,500円 2,000円 1,500円 金曜ペアチケット(2/19公演) 10,000円 9,000円 8,000円

曲目 ラフマニノフ: ピアノ協奏曲 第3番 ニ短調 op. 30\*

ショスタコーヴィチ: 交響曲 第15番 イ長調 op. 141

2027. 2.19 金 午後7:00 開演  
2.20 土 午後2:30 開演